

市民文芸

短歌

阿南市文化祭秋季短歌大会選

入選

吉形 和恵

トゲトゲの胡瓜は爺じいの誇りなり庭のひと夏今朝も味わう

入選

森岡 政子

古酒が雑味減らしてゆくように年経るごとに澄んでゆきたい

入選

庄野 悦子

かじかむ手包みくれたる大きな手いくつだったか父と麦ふみ

入選

入谷五十鈴

亡き夫の衣類整理す高校の制服ボタン五つ残して

佳作

荒瀬左知子

空高き広場で球を競いあう笑いの中に赤トンボ舞う

佳作

吉永賀代子

胸の地図どこかに繋がる昼の夢とぎれとぎれの法師蝉啼く

佳作

松島 博子

はかなさを誰と競うや白むくげ朱のノウゼンは雲を捕える

佳作

近藤 千代

娘が盆に帰省の折に書き呉れし小さき花の名漸く覚ゆ

佳作

林 ヤス子

向日葵とひかる太陽姉妹なり窓辺に寄りて耀きをみせ

佳作
川口 節子
猛暑のなか笑顔で次女が遣かつてくるカロリー無視の手みやげ持つて

俳句

阿南市俳句連合会選

野仏に手編の厚き冬帽子

神原 鹿山

大師堂独鈷杵飾り女正月

末岐 美子

一家して鳥居さんより初日浴ぶ

金本ひろみ

神様と同じ朝食七草粥

稲原美砂子

鱈鍋のリクエスト来て帰り待つ

坪井 美翠

笑顔ふり華やぐ社七五三

鳥海 勇二

三世代合わす柏手初詣

佐々木八千代

クレーンで下さるピアノ寒日和

吉崎 晶子

老々の行くあてもなき初鏡

久米 千草

味噌仕込む野バラの曲を流しつつ

神野千鶴子

川柳

阿南川柳会 田上 鶴子選

時間切りきり急まく商法に要注意

野口 吾朗

勇氣出しやっぱり好きと言ってみる

原 公美子

正月の和服やっぱり日本の美

滝川 太郎

お大師に抱かれ安らか遍路宿

鈴木レイ子

早く来て待たねば安堵できぬ質

高木 旬笑

柳友は宝老後の幸もらう

田上 鶴子

一般応募

島尾美津子

二人目になぜか差が付く雛飾り

武田 敏子

ブレーキが故障したよう老いの坂

仁井 信子

賑やかに出かけ小さな手が8つ

吉田 當代

夢買いに長蛇の列の福袋

吉田 當代

漢詩

阿南漢詩研究会・青松吟社選

春日郊行

谷口田鶴子

陽炎満野惹詩情

陽炎 野に満ち詩情を惹く

一路春風歩歩輕

一路春風 歩歩輕し

山色水光宜入句

山色 水光 宜しく句に入るべし

梅花の皦咽啼鶯

梅花 的皦 啼鶯咽ぶ

春光正到野人家

春光正に到る 野人の家

窗外椿開一樹斜

窗外椿開き 一樹斜なり

黄鳥未啼閑且靜

黄鳥未だ啼かず 閑にして且つ靜

茶花艶麗勝梅花

茶花艶麗にして 梅花に勝る

大学駅伝東京箱根間

原 美智子

健脚剛強選學人

健脚 剛強 學人選い

走都馳峪令和春

都を走り峪を馳る令和の春

名譽繼踵百年刻

名譽の繼踵 百年を刻む

努力結晶輝五輪

努力の結晶 五輪に輝かん